

日 時 令和6年1月16日（火）13時30分～16時  
場 所 牧之原市役所 榛原庁舎4階会議室  
出席者 別紙のとおり  
内 容 令和5年度第2回牧之原市地域公共交通会議

## 1 開 会

## 2 挨拶（大石副市長）

前回は松尾先生に公共交通についての現状や課題についてご講演をいただいた。また市の公共交通の概要や、計画についての説明をさせていただいた。また、第1回から今日までの間に評価改善部会を開催し、計画の評価や令和6年度の実・デマンド乗合タクシーについて事務局案に対しご意見を賜った。今回は、これらを協議いただいて、承認をお願いする次第である。

## 3 議 事

### （1）令和6年度の運行に関する事項

#### ① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出路線の運行について

- ・運行状況（資料1）

【事務局 笠井 説明】

- ・地域間幹線系統事業評価（資料2）・・・承認

【県地域交通課 浦田委員代理 説明】

【しずてつジャストライン(株) 藁科委員 説明】

【事務局 笠井 説明】

（質疑応答）

【松尾座長】

評価の話があったが、乗車人数については1日の乗降調査の結果に基づいているため、一喜一憂するようなものではない。輸送量という1日当たり平均どのくらいの人が乗っているかという指標があるが、15以上という国の補助の要件がある。これが重要な指標になってくると考える。

【県地域交通課 浦田委員代理】

ご指摘いただいたが、輸送量が指標に入っていないのは直近で沼津市の公共交通会議でも同様の意見をいただいた。それを踏まえて来年度様式の変更を検討している。

【松尾座長】

ジャストライン㈱の評価で、キロ当たり経費が高くなっている。これにより評価が低く出てしまっているが、例えば運転手の賃金が県の平均を上回っていることが、今の基準だと評価が低く出てしまう。安全対策をしっかりとっているとか運転手の待遇改善に取り組んでいるという視点ではむしろ良いのではないか。

【県地域交通課 浦田委員代理】

ご指摘の通りだと思う。評価基準を定めてしまえば終わりではないため今後も検討し、改善していく。

－ 異議なし － (承認)

② 生活交通確保計画案（資料３）・・承認

【事務局 笠井 説明】

ア 自主運行バスの運行について・・承認

・運行状況（資料４）

【事務局 笠井 説明】

・相良御前崎線、相良浜岡線の運行回数の変更（資料５）

【事務局 増田 説明】

（質疑応答）

【松尾座長】

利用者が少ないところについては致し方ないと思う。むしろ通学時間帯等の利用が多い時間帯をターゲットにして利用促進を別途やっていただきたい。

－ 異議なし － (承認)

イ デマンド乗合タクシーの運行について・・承認

・利用状況（資料６）

【事務局 笠井 説明】

・令和６年度デマンド乗合タクシーの運行計画案について（資料７）

【事務局 増田 説明】

・じとうがた号の運行状況、本格運行への検討（資料８）

【事務局 笠井 説明】

・まきのはら号の委託方式への変更について（資料９）

【事務局 増田 説明】

(質疑応答)

【市民代表 増田委員】

資料 8 の 1 ページと資料 6 の 17 ページについて。じとうがた号は利用者が少ない中、榛原総合病院を利用する方の割合が高い。これでは福祉タクシーになってしまうので、相良本通で降りてそこから特急バスや藤枝相良線に乗り換えれば利用者も市も費用を抑えることが出来るのではないか。

【事務局 増田】

榛原病院は吉田町と牧之原市の組合ではあるが、地域の総合病院という特殊性から市内全域同じようなサービスが提供されるべきという考えのものと配慮である。そのため、個人病院については線引きされており、じとうがた号の方はスーパーや個人病院に行くとなると相良に行くようになっている。あとはデマンドの利用者の平均年齢をみると 80 歳を超えており、会員登録についても 75 歳以上という線引きがなされている。ご指摘の通り、バスに乗れる方はバスに乗り換えることでもう少し安く行けるので、一応選択できるようにはなっていることからご了承いただければと考えている。

【市民代表 増田委員】

例えば、現在の 75 歳という線引きを 5 歳下げて 70 歳にした場合に榛原病院へ行く人が増えるか。相良御前崎線・相良浜岡線が減るということなので、もう 1 年試験運行を延ばして、70 歳にしたら利用率が上がるか考えた方がいいかもしれない。実際にバスの便数が減った後 70 歳に線を引き下げた場合、乗合率が上がって経費が助かるようになるのではないか。バスの便数が減った分、なにかしらアクションを起こさないと行政サービスの低下と言われる可能性があるのではないか。

【事務局 増田】

現時点で、75 歳という線を変えるのは難しい。また、じとうがた号が試験運行の上限である 3 年を実施したため、本格運行するか運行を辞めるかの 2 択である。本格運行に移行してから試行錯誤しながら改善していきたいと考えている。我々はデマンドタクシーの担当であるが、バスの担当でもあるためバスのお客さんを取るといったつもりはない。デマンドの利用者平均年齢が 80 歳を超えていることから線引きは下げても効果があるかという点と難しいというのが事務局の考え。

【県地域交通課 浦田委員代理】

県として色々な会議の場に赴いているが、デマンド乗合における乗合率は 1.1 程が多く、1.3 くらいになるとかなり高いという認識である。今回牧之原市のデータを見させていただいたが、かなり高い水準にあるというのが感想である。いま議論になっているじとうがた号も、乗合率が 1.3 あり十分高いと感じている。他の市町では平日毎日運行を実施し苦勞していることもある。福岡県の事例では、週に数回の運行というのが住民に不便を与えていると言われるそうではないというデータもある。牧之原市の週 2 ～ 3

で区切って乗合率を高める施策は他市町と比べて素晴らしい取り組みであると思った。

【松尾座長】

色々ご意見をいただいたが、論点としては今回バスの減便がある中で、今の状況のまま本格運行へ移行してもいいのかというところ。事務局から本格運行に移行した後でも試行錯誤という話があったが、試験運行から本格運行に移行することでその変更がスムーズにできなくなる等支障が出ることはあるか。なければ今回本格運行に移行し、様子を見ながらやっていこうという形でも良いのかなと思うがどうか。

【中部運輸局静岡運輸支局 増田首席運輸企画専門官】

本格運行に移行したからといって縛られて変えられないということはない。今回と同様に公共交通会議の中で諮っていただいて、皆さんの意見を頂戴した上で対応いただければいいと思う。

【牧之原市社会福祉協議会 柴事務局長】

資料7でデマンド乗合タクシーの運行曜日の拡大を示していただいた。社会福祉協議会で支援している勝間田のサロン事業では、木曜日に運行があると嬉しいと利用者の方からご意見をいただいていた。また、坂部ではサロンに合わせた臨時運行があるということで、今回の計画には感謝している。サロンを支援している方も高齢者、参加者も高齢者であるためデマンドタクシーに対する期待は大きかったと思う。サロンの方々はあるがたいと思ってくれることだろう。

【松尾座長】

臨時運行の手順として、事業者へ連絡がいくタイミング等のスケジュール感はどのようなものか。

【事務局 増田】

坂部区は聞いている話であると基本的には金曜日、かつ時間も決まっているのでこれから地元へ入っていったどの辺りの方が利用したいか聞き取りながら東海タクシーさんと考えていければいいと思っている。

— 異議なし — (承認)

(2) 牧之原市地域公共交通計画について

① 令和4年度評価について(資料10)

【事務局 増田 説明】

② 令和5年度の進捗について(資料11)

【事務局 増田 説明】

③ 令和6年度の計画について（資料12）

【事務局 増田 説明】

（質疑応答）

【県地域交通課 浦田委員代理】

資料11の3ページにある路線バスの魅力を発見する会は、大変素晴らしいと思う。県内で路線バスを使ったツアーというのは焼津市が実施しているのは承知しているが、なかなかこのような取り組みはなく、モビリティマネジメントで自家用車から公共交通へ誘導するのは簡単そうでとても難しい課題である。その解決方法としてツアーは有効であることがだんだんわかってきたため、引き続き進めていただきたい。

【事務局 笠井】

路線バスの魅力を発見する会に職員として参加し、資料の配布や説明で協力させていただいた。石津さんは藤枝市から牧之原市へ通勤をされている方で、飲み会がある日等に公共交通を利用している。特に藤枝相良線については片浜あたりの海岸線や富士見橋から見える大井川、そしてディーゼル車の揺れや匂い等が魅力的と仰っていただいた。参加者の方も参加者同士の交流や、沿線の景観を楽しんでいていい取り組みであったと感じている。今回は藤枝相良線であったが他路線でも実施していけたらと考えている。

【松尾座長】

今回は貸切の路線バスとのことであったが、一般の方でも可能なのか。

【事務局 笠井】

詳細な料金までは聞いてはいないが、出来るようである。

【松尾座長】

豊橋では路面電車の貸切が出来、割と安価である。片道1万4千円くらいから貸し切って、中で学生がプロレスやったり誕生日会をしたりしている。そのような利用方法を考えると面白いアイデアがあるかもしれない。

【市民代表 増田委員】

路線バスの魅力を発見する会について、とても面白いと思った。静岡空港が来年度15周年を迎える。そのときにバス会社・タクシー会社と連携しイベントを実施できないか。せっかく色々なところから静岡空港を見に来ていただけるので何か考えていただきたい。乗ってみたいと思わせるには古いバスでなく、最新型の低床バスでやってはどうか。

【市民代表 赤堀委員】

今度坂部の桜を見に行く行事が2月にあると聞いたが。

【事務局 増田】

坂部の桜まつりが2月の17日から18日にある。1年に1度実施している空港のイベントバスというがあるので、今回は組み合わせて空港見学と桜まつり見学を回るコースを企画し、現在募集中である。そういった取り組みは実施しているが、来年度は15周年の節目ということもあるので色々考えていきたい。

【牧之原市商工会 副会長 水野委員】

ジャストラインさんにお伺いしたいが、旧御前崎に特急バスがいなくなり相良本通からの榛原高校の生徒への配慮で時間変更があり、有難いと思う。現在、榛原高校にしても相良高校にしても定員割れで苦勞している。その中で特急バスが御前崎まで行けば高校生が通いやすくなる。現在相良から浜岡まで特急バスが出ているが、どのくらい高校生の助けになっているか。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

浜岡までの延伸を実施したのが2020年であったかと思うが、徐々に利用者数は増えてきているという認識、それでも1便あたりにすると2人くらいではある。

【牧之原市商工会 副会長 水野委員】

それを御前崎まで延伸した場合、更に利用者増を見込めないか。御前崎から相良高校・榛原高校に通っている生徒数を考えると、学校の時間帯だけ延伸する等そういった検討をすることはできないか。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

その件については、牧之原市・御前崎市より要望をいただいております当社として出来ないこと、その代替案を伝えたくて両市にご検討いただいているところである。

【牧之原市商工会 副会長 水野委員】

それから、この公共交通会議の場に相良高校・榛原高校の校長を招くことは出来ないか。高校側の意見をこの場で言ってもらえるとより活性化すると思う。

【松尾座長】

高校生の通学マップや、定期購入補助等高校生を対象とした取組が予定されているので、学校側の意見は非常に重要だと思う。メンバーとして入っていただくのか随時意見を聞きながらやるのかは事務局にご検討いただきたい。

【牧之原市消費者協会 竹内委員代理】

いつもしずてつジャストラインのバスを使って静岡に行くが、バス停の近くに駐車場がないのが不便である。料金を取ってもいいので駐車場を整備していただければそこまで車で行き、バスに乗ることも出来る。また、消費者協会の会員から要望があったが、相

良本通バス停にロータリーがなくなったため、お迎えに行くときに困るという話もあった。少しの時間でいいので停めておける場所が欲しいという要望があった。

【事務局 増田】

駐車場・駐輪場についてはパークアンドライドの考え方からも長年課題であり、昔は候補地を探すこともあった。なかなかすぐには難しいが検討する。

【市民代表 増田委員】

パークアンドライドについて、以前からお話している榛原総合病院の特急バス全便乗り入れ、そしてバスターミナル化することでパークアンドライド・サイクルアンドライドを達成できると思うがその進捗状況および考え方はどうか。

【事務局 増田】

榛原総合病院への乗り入れ時間帯の拡大は公共交通計画の中にも記載があり、調整中である。しかし、しずてつジャストラインや榛原総合病院との調整ということですぐに決まるというのは難しい。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

事務局の言うように協議中という認識。特急線というのは牧之原吉田地区と静岡市までいち早く運ぶ速達性が使命だと考えている。そのため、道路環境が変わり乗り入れすることで生じるロスタイムがなくなれば十分検討の余地があるというに考えている。

【市民代表 増田委員】

時間的なロスを考えるのであれば、むしろ根松牧之原警察署入口バス停を辞めてしまい榛原総合病院に集約するという考えはないか。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

榛原総合病院バス停は一度右折し、中に入るという時間がかかなり大きい状況。

【市民代表 増田委員】

ダイヤを見ると、6～7分変わってしまうのは認識している。しかし根松牧之原警察署入口に停まらなくする分乗車時間が減るのではないか。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

指摘の点も含め、検討する。

【市民代表 赤堀委員】

特急バスが榛原総合病院に乗り入れるには道路状況的に大変なことだと思う。かなり先であるが細江小学校が、学校再編により廃校になる。空き地になるのであればバスター

ミナルとして整備してはどうか。

【牧之原市企画政策部 大石部長】

学校跡地利用については、現在様々な議論をいただいているところであるのでそういった意見も参考にしながら進めていければと思う。いずれにしても 150 号線から入ってきて出るという行為でどのくらいロスが生じるか、また前後のバス停の位置等も考えながらやっていかなければと考えている。

【市民代表 増田委員】

静波 1 号幹線が開通すると思うが、それに関連してバスの経路変更は考えているか。

【しずてつジャストライン㈱ 藁科委員】

静波海岸入口バス停の取り扱い含め、牧之原市と協議中である。開通後すぐに経路変更というのは予定していないため、一旦は現在のままということになる。

－ 異議なし － (承認)

## 7 その他

運賃協議部会について

【事務局 原口 説明】

【中部運輸局静岡運輸支局 増田首席運輸企画専門官】

運賃協議部会について 10 月の会議の際に説明させていただいたが、静岡県での前例が少ない。出来るだけ負担の少ないように対応していくのでその都度相談いただきたい。

## 8 閉 会